

定例理事会・定例総会

2022年3月17日開催

(内容書類一覧)

理事会・総会 議事次第

2021年度 事業報告・収支決算

2022年度 事業計画案・収支予算案

運営委員選出議案

特定非営利活動法人

日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）

特定非営利活動法人

日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）

定例理事会・総会

日時： 2022 年 3 月 17 日（木） 18:30～19:50

場所： Zoom によるリモート開催

在籍： 理事 17 名（2021 年 12 月 31 日時点）＊理事会成立定足数：9 名

会員総数：122 名（2021 年 12 月 31 日時点）＊総会成立定足数：41 名

議 事 次 第

1. 開会宣言

2. 議長選出と議事録署名人選出

3. 定足数の確認

4. 議事 【資料 No.1～10】

（1）2021 年度事業報告審議（理事会・総会議決事項） 【No.1】

（2）2021 年度収支決算審議（理事会・総会議決事項）・監査報告 【No.2～7】

（3）2022 年度事業計画案審議・報告（理事会議決・総会報告事項） 【No.8】

（4）2022 年度収支予算案審議・報告（理事会議決・総会報告事項） 【No.9】

（5）運営委員選出議案（理事会議決事項） 【No.10】

6. 閉会宣言

懇 親 会

終了後 21:00 まで懇親会を実施します。

==テーマ==

官公庁の委員会等に出席して感じた問題意識をご紹介いただき、それを踏まえて
JSIF として何ができるか検討する座談会

Zoom によるリモート開催に伴うお願いや注意事項等

- 参加者一覧に表示されるユーザー名で出欠・定足数の確認をいたしますので、画面に表示されるユーザー名にフルネームの表記をお願いいたします。
- 定足数の確認に時間がかかる恐れがあるため、18:20 までの入室にご協力をお願いいたします。開会の 18:30 に間に合わない見込みの方は、事前に委任状または書面評決票の提出をお願いいたします。
- 総会の出席議決権の集計は、18:30 の開会の時点で Zoom に接続されている会員様を対象といたします。議案の決議が終わるまでは接続の状態を保っていただけますよう、よろしくお願いいたします。
- 会場での開催時同様、開会後の途中からもご参加いただけます。ただし議決権を行使することはできませんので、事前に委任状または書面評決票の提出をお願いいたします。
- 会場での開催ではないため、ご質問の手を挙げづらい面をあるかと思います。事前にメールでいただければ、総会の場で質問をご紹介した上で回答いたします。
- 従来、決議の際、賛成の場合は拍手をお願いしていましたが、反対の場合に挙手をお願いして、なければ賛成、という方式で決議を取らせていただきます。反対に手を挙げづらい面もあるかと思いますので、事前に書面評決票で反対の旨ご記入ください。同時にご意見もいただければ、決議前にご紹介いたします。
- 晩ご飯の時間帯にかかりますので、ビデオ・音声 OFF で食事を取りながらご参加いただいても構いません。理事のみなさまは原則ビデオ ON の状態でご参加よろしくお願いいたします。
- もちろん懇親会のみご参加いただいてもかまいません。

Zoom ユーザー名の変更方法

入室前の事前変更

① ブラウザをお使いの場合

「サインイン」→「プロフィール」→名前の横の「編集」（下記画像を参照）→「表示名」を変更



② Zoom アプリをお使いの場合

PC の場合

「サインイン」→「設定」→「プロフィール」→「マイプロフィールの編集」→「表示名」を変更

スマホ・タブレットの場合

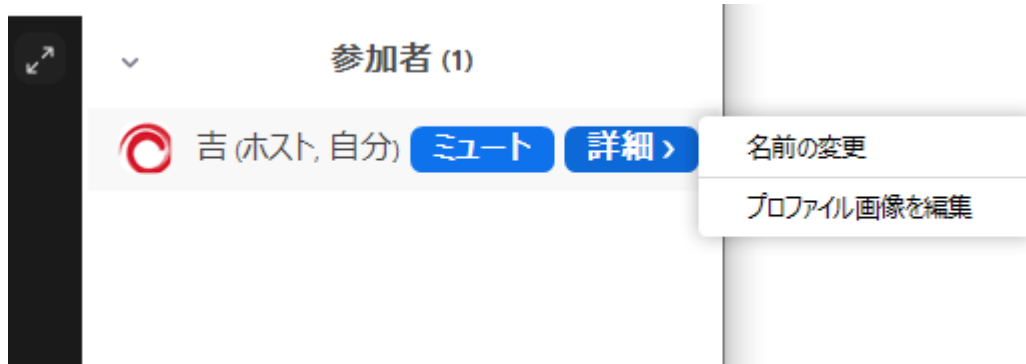
「サインイン」→「設定」→名前が表示されている部分をタップ（下記画像参照）→「表示名」を変更



入室後の変更

PC の場合

「参加者」→自分の名前にカーソル→「詳細」→「名前の変更」



スマホ・タブレットの場合

「参加者」→自分の名前をタップ→「名前の変更」



事業報告・収支決算

自 2021 年 1 月 1 日
至 2021 年 12 月 31 日

事業報告書

財産目録

貸借対照表

活動計算書

収支実績予算対照表

特定非営利活動法人

日本サステナブル投資フォーラム

2021 年度 事業報告書

2021 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人 日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）

特定非営利活動法人 日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）の事業は、会員による年会費や協賛等の様々な形のご支援、また理事、運営委員による無償の活動によって実施され、以下の成果を挙げることができた。

1. 会員動向

2021 年度の会員在籍数と入退会状況は以下の通りである。

- ・法人会員…入会 2 社、退会 3 社。
- ・個人会員…入会 16 名、退会 17 名。

種 別	期 首	入 会	退 会 ^{※1}	期 末
金融 HD カンパニー	1	0	0	1
都市銀行・信託銀行・地方銀行	0	1	0	1
生命保険・損害保険	2	0	0	2
証券会社・運用会社	11	1	2	10
投資助言・金融情報サービス業	9	0	1	8
上記以外の金融事業を営む法人	0	0	0	0
経営コンサルティング業	5	0	0	5
公的機関・監査法人・社団法人など	7	0	0	7
上記以外の一般法人	2	0	0	2
NPO・NGO・年金基金など	5	0	0	5
個 人	82	16	17	81
合 計	124	18	20	122

※1 退会した法人会員

- ・株式会社インテグレックス
- ・NN インベストメント・パートナーズ株式会社
- ・コムジェスト・アセットマネジメント株式会社

<法人・団体会員内訳> 入会順

【プレミアム法人会員】

- ・ 株式会社クレアン
- ・ KPMG あずさサステナビリティ株式会社
- ・ 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
- ・ ニッセイアセットマネジメント株式会社
- ・ EY 新日本有限責任監査法人
- ・ アセットマネジメント One 株式会社
- ・ SOMPO リスクマネジメント株式会社
- ・ アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
- ・ CSR デザイン環境投資顧問株式会社
- ・ GPSS ホールディングス株式会社
- ・ 三菱UFJ 信託銀行株式会社（2021 年 4 月入会）

【一般法人会員】

- ・ 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
- ・ 株式会社日本政策投資銀行
- ・ 株式会社大和証券グループ本社
- ・ 東京海上日動火災保険株式会社
- ・ NPO 法人エティック
- ・ NPO 法人環境エネルギー政策研究所
- ・ 損害保険ジャパン株式会社
- ・ PwC サステナビリティ合同会社
- ・ 一般社団法人 CDP Worldwide-Japan
- ・ FTSE Russell
- ・ 一般財団法人日本経済研究所
- ・ 一般社団法人投資信託協会
- ・ ブルームバーグ エル・ピー
- ・ 株式会社エッジ・インターナショナル
- ・ MSCI.Inc
- ・ 損害保険労働組合連合会
- ・ 株式会社 QUICK
- ・ Hermes Equity Ownership Services
- ・ 株式会社イースクエア
- ・ ロイドレジスタージャパン株式会社
- ・ Arabesque Asset Management Ltd.
- ・ アムンディ・ジャパン株式会社
- ・ S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス
- ・ SOMPO アセットマネジメント株式会社
- ・ BofA 証券株式会社
- ・ 公益財団法人地球環境戦略研究機関（相互会員）

- ・ 2° Investing Initiative（相互会員）
- ・ 東京海上アセットマネジメント株式会社
- ・ ファクトセット・パシフィック
- ・ ファースト・センティア・インベスターズ株式会社（2021 年 6 月入会）

2. 2021 年度事業報告

1 日本サステナブル投資白書 2020 の発行

白書は客観的なデータや事実を集積し、日本におけるサステナブル投資の現状を広く世の中に認識していただくことを目的に 2007 年度版より隔年で発行している。2021 年 3 月に日本語版を 6 月に英語版を発行した。

2019 年度版を発行せず 1 年あいだを空けたのは、海外の SIF（US SIF、Euro SIF）や Global Sustainable Investment Alliance（GSIA）の隔年発行のレポートと発行年度を揃えるため。

編集・エディトリアルデザイン・英訳協力

株式会社エッジ・インターナショナル

特別協賛

CSR デザイン環境投資顧問株式会社

GPSS ホールディングス株式会社

一般協賛

アムンディ・ジャパン株式会社

損害保険労働組合連合会

SOMPO アセットマネジメント株式会社

ニッセイアセットマネジメント株式会社

助成

公益財団法人トラスト未来フォーラム

事業収入 1,312 千円（協賛金・助成金・白書売上）

事業支出 1,232 千円（原稿料・デザイン・英訳）

2 サステナブル投資残高調査

2015 年より毎年、国内に拠点を有する機関投資家を対象としたアンケート調査を実施しており、過去 3 年の推移は以下の通り（金額は百万円単位）。詳細な結果レポートについては 2022 年春の発行を目指して準備を進めている。

また 2020 年度の調査結果については、GSIA が 2021 年 7 月に発行した“[Global Sustainable Investment Review 2020](#)”への報告資料として利用した。

	2019 年 3 月末	2020 年 3 月末	2021 年 3 月末
サステナブル投資残高合計	336,039,620	310,039,275	514,052,801
総運用資産残高に占める割合	55.9%	51.6%	61.5%
機関数	43	47	52

事業収入 ゼロ

事業支出 70 千円（ウェブ回答システムの費用）

3 学長対談「サステナブルを伝えるということ」（2021 年 7 月 8 日 Zoom 開催）

北川浩 学長（成蹊大学）と水口剛 学長（高崎経済大学／JSIF 代表理事）の対談イベントを実施（進行は河口理事）。当日の様子は動画収録し [YouTube で公開中](#)。とくに学長と小中高生との対話パートが好評だった。

事業収入 ゼロ

事業支出 20 千円（謝礼）

4 分科会

運営委員の黒田を統括リーダーとして、3 つの分科会を立ち上げ、7 月より活動開始。活動の詳細は 7 ページの通り。

事業収入 ゼロ

事業支出 ゼロ（分科会で利用している Microsoft Teams は無償）

5 サステナブルを語る会（2021 年 9 月 15 日、10 月 7 日に Zoom 開催）

法人会員所属の若手社員を対象としたランチタイム交流会を実施。参加者を対象とした Teams の運用も開始。

事業収入	ゼロ
事業支出	ゼロ

6 海外との連携

2018 年より GSIA へ加盟。電話会議に会長の荒井、代表理事の林が出席している。また Global Sustainable Investment Review 2020 の日本語訳を作成した。なお 2021 年中に GSIA の年会費の請求書が未達のため今期の費用に未計上。

2019 年に取り掛かった PRI Academy の日本語訳作業について、度重なる原文の改定に伴い、終わりが見えない状況が続いていたが、2021 年中に翻訳作業は終了。PRI Academy からのリリースを待つのみである。

このほか PRI (JSIF は PRI の Network Suppoter) や Asia Investor Group on Climate Change (AIGCC) との意見交換会を実施した。

事業収入	ゼロ
事業支出	117 千円 (海外レポート購入費・翻訳ソフト代等)

7 早稲田大学大学院経営管理研究科の講座

運営委員の岸上が担当講師を務める講座「サステナブルな企業/投融資行動の探求」を支援した。4 月から 7 月にかけて全 15 コマで実施。また各回講義の模様をウェブサイトで紹介した (執筆は運営委員の岡田、御代田、会員の亀井)。各回テーマ・講師を 8 ページに掲載。

事業収入	ゼロ
事業支出	18 千円

8 ウェブサイトでの情報発信

① ウェブサイトへの訪問者数

ウェブサイトの年間訪問者数は、のべ 31,526 名 (前期は 18,948 名)。日本サステナブル投資白書 2020 の発行を機にアクセス数が大幅に増加した。なお Twitter のフォロワー数は 930 (前期末は 815)。

② 個人向け金融商品のサステナブル投資残高の公表

サステナブル投資に関する一般向けの情報提供として、公開情報より個人向け金融商品の一覧をまとめ、3, 6, 9, 12月末時点の投資残高をウェブサイトで発表している。(投資信託については株式会社QUICK、債券については大和証券株式会社に元データをご提供いただき作成している)

③ RI 記事のヘッドライン翻訳

責任投資に特化したイギリスの情報媒体” Responsible Investor (RI) の最新ニュースから理事の黒田が記事をピックアップし、タイトルの日本語訳を提供している。

事業収入 ゼロ

事業支出 187 千円 (ウェブサイトの運営費用)

9 JSIF の今後の運営についての検討会

理事・運営委員を中心とした有志で今後の運営についての検討会を実施した。(4～11月まで全7回) 主な議論の内容は以下の通り。

かつての JSIF の位置付けは、サステナブル投資の分野が注目されておらず、国内で唯一の団体であったため、公益性が重要だった。また会員の立場からすると JSIF に参画することに価値があった。しかし今はこの分野が注目され、様々な団体が乱立しているので、これからは会員向けの事業に力を入れていくべき。

具体的な事業案としては以下があげられた。

- 若手が気軽に議論できる場作り→上記5の「サステナブルを語る会」を実施
- 旬のテーマや話題を持ち寄っての井戸端会議(従来の講義形式のセミナーに代わるものとして)
- PRI アカデミー日本語版の開始後、JSIF でも勉強会を実施(カナダ SIF では独自の入門編講座を実施している)
- 初心者向けの解説動画の作成(なぜ ESG 投資が始まったのか、なぜ非財務情報が重要なのか、歴史を踏まえた土台の部分を教える場がないため)
- 白書事業を JSIF が業界団体を結ぶハブとしての立ち位置を確立するためのツールと位置づける(白書事業に先立って、投資残高調査事業で2022年調査よりインパクト投資の部分について社会変革推進財団(SIIF)と連携を協議中)

以上

2021年度 分科会活動

分科会1：パブリック・スチュワードシップ

メンバー数 17
 会議開催数 1
 活動内容

2020年の分科会活動の会員及び対外的な知名度が必要との判断から、ロビー関連についての活動を糧にして、パブリック・コメント依頼への回答を軸に活動を進めている。5月に東京証券取引所の「フォローアップ会議の提言を踏まえたコーポレートガバナンス・コードの一部改訂に係る上場制度の見直しについて（市場区分の再編に係る第三次制度改正事項）」（コーポレートガバナンス・コード改訂案）への意見を提出。7月に「ビジネスと人権に関する行動計画推進円卓会議」に対する投資家としての意見集約を本分科会の目的として追加。

分科会2：金融教育へのサステナビリティ統合

メンバー数 12
 会議開催数 1
 活動内容

2020年に引き続きサステナブル投資に関する教材提供を継続。6月にゆうちょ銀行向け教材「融資と投資」を4バージョン（小学生低学年・中学年・高学年、中学生）で作成、ゆうちょ銀行ウェブサイト上で公開、JSIFブログでそのリンクを掲載。日本郵政グループ報「郵政」9月号にて本教材について紹介、黒田分科会統括リーダーのコメントも掲載。引き続きかんぽ生命向け教材についても着手予定。

分科会3：サステナブル投資状況サーベイ実施

メンバー数 17
 会議開催数 3
 活動内容

4月に「2020年サステナブル投資状況サーベイ結果」を公表。差別化を図るため、顧客・受益者への報告（スチュワードシップ・コード原則6）を軸とし、スチュワードシップ・コードの原則5、原則6、原則7、テーマ別で気候変動、人権を取り上げ、対象は個人向け投信純資産残高上位20位（純資産全体の94%をカバー）とした。

9月からは変化の激しい投信情報開示について、今後の日本での適用も念頭に現状把握・国際比較を検討。ウェブ会議について比較対象・項目を吟味した。11月末時点での欧州SFDR、CFA協会開示基準、IOSCO推奨を整理、12月末にその結果を公表。

早稲田大学大学院経営管理研究科 2021年度春学期講座

科目名 「サステナブルな企業/投融資行動の探求」

担当講師 岸上有沙 / 竹原均

日程	テーマ	講師 (敬称略)	所属
4月10日	当講座の全体紹介：サステナブル事業・ファイナンス導入	岸上 有沙	
4月17日	事業会社：サステナブルな事業形成に向けて	畑中 晴雄	花王株式会社 ESG戦略部
4月24日	投資家：アセットオーナーから始まる投資バリューチェーン	塩村 賢史	年金積立金管理運用独立行政法人
5月1日	個人投資家の視点から見る、サステナブル・ファイナンス	竹川 美奈子	LIFE MAP ,LLC
5月8日	銀行：融資を通じた社会の変化	福吉 隆行	株式会社日本政策投資銀行
5月15日	第三者評価とESG情報：その整理と活用	岸上 有沙	
5月22日	サステナブル投資家と事業会社を繋ぐ証券取引所	三木 誠	株式会社日本取引所グループ
5月29日	保険：損害保険会社から見たESG課題の重要性	金井 圭	損保ジャパン株式会社
6月5日	「衣」から広がるESG	青沼 愛	Kamakura Sustainability Institute
6月12日	「食」から広がるESG	岸上 有沙	
6月19日	「住」から広がるESG	田邊 佳人	CSRデザイン環境投資顧問株式会社
6月26日	「移」から広がるESG	手塚 裕一	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
7月3日	「デジタル情報」から広がるESG	小平 龍四郎	日本経済新聞
7月10日	「エネルギー」から広がるESG	黒崎 美穂	ブルームバーグNEF
7月17日	まとめ/レポート提出	岸上 有沙	

※色付け部分はJSIF会員に登壇を依頼した回

書式第17号（法第28条関係）

令和3年度 財産目録

令和3年12月31日現在

特定非営利活動法人 日本サステナブル投資フォーラム

(単位：円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
三井住友銀行赤坂支店 普通預金	8,527,693		
三菱東京UFJ銀行赤坂見附支店 普通預金	0		
未収金			
個人会費	40,000		
仮払金			
過納付源泉所得税	2,042		
流 動 資 産 合 計		8,569,735	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産計			
投資その他の資産計	0		
固 定 資 産 合 計		0	
資 産 合 計			8,569,735
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
	0		
前受金			
	0		
仮受金			
	0		
預り金			
源泉所得税	139,611		
社会保険料	74,890		
流 動 負 債 合 計		214,501	
2 固定負債			
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			214,501
正 味 財 産			8,355,234

書式第15号（法第28条関係）

令和3年度 貸借対照表

令和3年12月31日現在

特定非営利活動法人 日本サステナブル投資フォーラム

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	8,527,693		
棚卸資産	0		
未収金	40,000		
仮払金	2,042		
流 動 資 産 合 計		8,569,735	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固 定 資 産 合 計		0	
資 産 合 計			8,569,735
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
前受金	0		
仮受金	0		
預り金	214,501		
流 動 負 債 合 計		214,501	
2 固定負債			
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			214,501
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,906,500	
当期正味財産増減額		1,448,734	
正味財産合計			8,355,234
負債及び正味財産合計			8,569,735

書式第13号（法第28条関係）

令和3年度 活動計算書

令和3年 1月 1日から 令和3年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本サステナブル投資フォーラム

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費			
団体会員			
金融機関	2,750,000		2,750,000
一般法人	1,950,000		1,950,000
公的・中間機関	1,000,000		1,000,000
NPO・NGO	30,000		30,000
個人会員	685,000		685,000
正会員受取会費計		6,415,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	0		0
3 受取助成金等			
受取民間助成金	0		0
4 事業収益			
勉強会活動	0		0
ホームページ運営活動	0		0
シンポジウム活動	0		0
SRI普及・啓発活動	1,312,500		1,312,500
5 その他収益			
受取利息	68		68
雑収益	0		0
経常収益計		7,727,568	7,727,568
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	2,080,000		2,080,000
退職給付費用	0		0
福利厚生費	0		0
人件費計		2,080,000	2,080,000
(2)その他経費			
売上原価	0		0
会議費	2,000		2,000
旅費交通費	16,920		16,920
通信運搬費	72,640		72,640
減価償却費	0		0
消耗備品費	59,513		59,513
印刷製本費	0		0
研修図書費	0		0
諸謝金	150,000		150,000
交際費	0		0
諸会費	59,572		59,572

支払手数料	7,040		7,040
会場費	0		0
業務委託費	1,280,000		1,280,000
その他経費計		1,647,685	1,647,685
事業費計		3,727,685	3,727,685
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	1,120,000		1,120,000
退職給付費用	0		0
法定福利費	531,014		531,014
福利厚生費	47,604		47,604
人件費計		1,698,618	1,698,618
(2)その他経費			
会議費	0		0
旅費交通費	400		400
通信運搬費	58,480		58,480
消耗備品費	127,666		127,666
印刷製本費	24,587		24,587
賃借料	300,000		300,000
交際費	0		0
減価償却費	0		0
諸会費	10,000		10,000
支払手数料	67,662		67,662
租税公課	0		0
業務委託費	263,736		263,736
雑費	0		0
その他経費計		852,531	852,531
管理費計		2,551,149	2,551,149
経常費用計		6,278,834	6,278,834
当期経常増減額		1,448,734	1,448,734
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計		0	0
Ⅳ 経常外費用			0
経常外費用計		0	0
経理区分振替額		0	0
税引前当期正味財産増減額		1,448,734	1,448,734
法人税、住民税及び事業税		0	0
当期正味財産増減額		1,448,734	1,448,734
前期繰越正味財産額			6,906,500
次期繰越正味財産額			8,355,234

書式第16号（法第28条関係）

令和3年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 日本サステナブル投資フォーラム

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

また取得価額10万円以上20万円未満の一括償却資産については3年間で均等償却しています。

(3) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。

また、計上額の算定方法は「3. 施設提供等の物的サービス受入の内訳」に記載しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

(5) 会費収入の計上基準

会費収入は現金基準で計上しています。

個人会費のクレジットカード決済については決済日で計上しています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	勉強会活動	シンポジウム活動	ホームページ運営活動	SRI普及・啓蒙活動	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	6,415,000	6,415,000
2. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0	0	0
4. 事業収益	0	0	0	1,312,500	1,312,500	0	1,312,500
5. その他収益	0	0	0	0	0	68	68
経常収益計	0	0	0	1,312,500	1,312,500	6,415,068	7,727,568
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	0	0	0	0	2,080,000	1,120,000	3,200,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	531,014	531,014
福利厚生費	0	0	0	0	0	47,604	47,604
人件費計	0	0	0	0	2,080,000	1,698,618	3,778,618
(2) その他経費							
売上原価	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	2,000	0	2,000	0	2,000
旅費交通費	0	0	16,920	0	16,920	400	17,320
通信運搬費	0	0	2,640	70,000	72,640	58,480	131,120
消耗備品費	0	0	2,200	57,313	59,513	127,666	187,179
印刷製本費	0	0	0	0	0	24,587	24,587
研修図書費	0	0	0	0	0	0	0
交際費	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	300,000	300,000
諸謝金	0	0	0	150,000	150,000	0	150,000
諸会費	0	0	0	59,572	59,572	10,000	69,572
支払手数料	0	0	2,860	4,180	7,040	67,662	74,702
租税公課	0	0	0	0	0	0	0

会場費	0	0	0	0	0	0	0
業務委託費	0	0	180,000	1,100,000	1,280,000	263,736	1,543,736
雑費	0	0	0	0	0		0
その他経費計	0	0	206,620	1,441,065	1,647,685	852,531	2,500,216
経常費用計	0	0	206,620	1,441,065	3,727,685	2,551,149	6,278,834
当期経常増減額	0	0	-206,620	-128,565	-2,415,185	3,863,919	1,448,734

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
なし	0	

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は 8,355,234円ですが、そのうち 0円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は 8,355,234円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計	0	0	0	0	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 ノートパソコン	161,784	0	0	161,784	161,784	0
無形固定資産				0		0
投資その他の資産				0		0
合計	161,784	0	0	161,784	161,784	0

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支払い法人等との取引
(活動計算書)			
活動計算書計 (貸借対照表)	0	0	0
貸借対照表計	0	0	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 事業費と管理費の按分方法

給与手当について、65%を事業費に按分し、残り35%を管理費としています。

・ その他の事業に係る資産の状況

記載事項はありません。

2022年2月7日

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 日本サステナブル投資フォーラム
理 事 会 御 中

監事 阿部 和彦



監事 栗原 祐介



私たちは、特定非営利活動法人 日本サステナビリティ投資フォーラム（以下、「同法人」という。）の2021年1月1日から2021年12月31日に係る会計及び業務について監査を行い、以下のとおり報告する。

1. 財産目録及び収支計算書は、会計帳簿と一致し、同法人の財政状態及び収支の状況を重要な点において、正しく示しているものと認める。
2. 事業報告の記載内容は、重要な点において、真実を示しているものと認める。
3. 理事の職務執行に関する不正事項及び法令・定款に違反する重要な事項は認められなかった。

以上

特定非営利活動法人日本サステナブル投資フォーラム

(単位：円)

科目	細目	20年度実績	21年度予算額	同実績	備考
I 経常収入の部					
1. 会費収入		<u>6,600,000</u>	<u>6,980,000</u>	<u>6,415,000</u>	
正会員会費収入	金融機関会員(14社)	2,900,000	3,000,000	2,750,000	※海外法人は1口5万円
	一般法人会員(15社)	2,250,000	2,400,000	1,950,000	
	公的・中間機関会員(7社)	800,000	900,000	1,000,000	
	NPO/NGO会員(5社)	30,000	30,000	30,000	
	個人会員(81名)	620,000	650,000	685,000	
2. 事業収入		<u>0</u>	<u>1,400,000</u>	<u>1,312,500</u>	
	セミナー開催	0	100,000	0	
	シンポジウム開催	0	0	0	
	白書の協賛金・売上	0	800,000	812,500	
	助成金収入	0	500,000	500,000	
3. 雑収入		<u>56</u>	<u>50</u>	<u>68</u>	
	受取利息、雑収入	56	50	68	
経常収入合計(A)		<u>6,600,056</u>	<u>8,380,050</u>	<u>7,727,568</u>	
II 経常支出の部					
1. 事業費		<u>3,365,249</u>	<u>5,630,000</u>	<u>3,727,685</u>	
事業運営費	分科会	0	300,000	0	
	勉強会・ダイアログ	0	300,000	20,550	
	海外との連携	987,018	600,000	117,765	
	機関投資家向けアンケート	0	100,000	70,000	
	白書の製作費等	270,907	1,400,000	1,232,200	
	ウェブサイト運営	27,324	350,000	207,170	
	給料手当(事業)	2,080,000	2,580,000	2,080,000	給料の65%を按分
2. 管理費		<u>2,671,075</u>	<u>2,730,000</u>	<u>2,551,149</u>	
事務局運営費	給料手当	1,120,000	1,120,000	1,120,000	給料の35%を按分
	法定福利費	500,049	500,000	531,014	社会保険料
	旅費交通費	4,306	30,000	400	
	地代家賃	450,000	300,000	300,000	
	業務委託費	263,736	270,000	263,736	税理士報酬
	支払手数料	65,880	70,000	67,662	振込手数料・カード決済手数料
	通信費	41,761	40,000	55,312	電話・Zoom・郵便等
	消耗備品費	135,962	250,000	127,666	
	その他経費	89,381	150,000	85,359	
経常支出合計(B)		<u>6,036,324</u>	<u>8,360,000</u>	<u>6,278,834</u>	
当期収支差額(A)-(B)		563,732	20,050	1,448,734	

2022年度 事業計画・予算（案）

自 2022 年 1 月 1 日
至 2022 年 12 月 31 日

特定非営利活動法人

日本サステナブル投資フォーラム

2022年度 年間事業計画(案)

2022年1月1日～12月31日

定款第5条に基づく次の特定非営利活動に係る事業を実施する。

特定非営利活動法人日本サステナブル投資フォーラム

事業区分	事業名	具体的な内容	運営 管理	実施予定 時期・回数	実施予定 場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲 及び予定人数	支出見込額 (単位：円)
対話促進	分科会	JSIF会員で構成する分科会で、ハブコメへの参加、金融教育の教材づくりや情報発信、サステナブル投資に関する調査の実施を行う。	運営委員事務局	通年	ウェブ上 東京都	数名	サステナブル投資に関心を持つ不特定多数の人	100,000
	勉強会・ダイアログ	JSIF会員を中心に講師を招き、意見交換の場とする。 ・金融機関のSRI・ESG投資の関係者を対象とした議論の場 ・ESG投資家とCSR/IR担当者との対話の場	運営委員事務局	不定期	ウェブ上 東京都	数名	JSIF会員	100,000
	海外との連携	Global Sustainable Investment Alliance(GSIA)への関与を通じて、海外SIFとの情報交換を促進する。	運営委員事務局	通年	ウェブ上 東京都	数名	サステナブル投資に関心を持つ不特定多数の人	800,000
調査 研究	サステナブル投資白書2022	日本のサステナブル投資市場の最新状況を報告する隔年発行の白書。 2022年夏までに構成・執筆者を決定、2022年末までに原稿回収。発行は2023年春。	運営委員事務局	通年	ウェブ上	約10名	サステナブル投資に関心を持つ不特定多数の人	400,000
	サステナブル投資残高アンケート調査	日本に拠点を有する機関投資家を対象にサステナブル投資残高を尋ねるアンケート調査を実施。毎年9月に実施し、年内に結果を発表。翌年に詳細をまとめた冊子を発行する。 2021年の調査結果レポートは「サステナブル投資残高調査2021」として2022年春に発行。	運営委員事務局	通年	ウェブ上	数名	サステナブル投資に関心を持つ不特定多数の人	
情報提供 啓蒙活動	ウェブサイトの運営・管理	中立的な立場で日本におけるSRI・ESG投資の最新情報等を提供する。 個人向け金融商品におけるサステナブル投資残高のデータ更新（四半期ごと）。 Responsible Investor の記事タイトル翻訳を提供する。 会員専用ページでセミナー動画や配布資料を提供する。	運営委員事務局	通年	ウェブ上	数名	サステナブル投資に関心を持ち、ウェブサイトに訪問する不特定多数の人	300,000
	早稲田大学講座	運営委員の岸上有沙氏が担当講師を務める早稲田大学大学院経営管理研究科の授業の支援。 ・JSIF会員から事前の情報提供や登壇をお願いする。 ・授業の様様をJSIFウェブサイトで紹介する。	運営委員事務局	4～7月	東京都	数名	早稲田大学大学院経営管理研究科の学生	
小計								1,700,000
各事業推進に係る給料手当て								2,700,000
合計								4,400,000

科目	細目	21年度予算額	同実績	22年度予算額	備考
Ⅰ 経常収入の部					
1. 会費収入		6,980,000	6,415,000	6,380,000	
正会員会費収入	金融機関会員(14社)	3,000,000	2,750,000	2,750,000	
	一般法人会員(15社)	2,400,000	1,950,000	2,000,000	
	公的・中間機関会員(7社)	900,000	1,000,000	900,000	
	NPO/NGO会員(5社)	30,000	30,000	30,000	
	個人会員(81名)	650,000	685,000	700,000	
2. 事業収入		1,400,000	1,312,500	100,000	
	勉強会・ダイアログ	100,000	0	100,000	
	残高調査レポートの発行	0	0	0	
	白書協賛金	800,000	812,500	0	
	助成金収入	500,000	500,000	0	
3. 雑収入		50	68	50	
	受取利息、雑収入	50	68	50	
経常収入合計(A)		8,380,050	7,727,568	6,480,050	
Ⅱ 経常支出の部					
1. 事業費		5,630,000	3,727,685	4,400,000	
事業運営費	分科会	300,000	0	100,000	
	勉強会・ダイアログ	300,000	20,550	100,000	謝礼等
	海外との連携	600,000	117,765	800,000	GSIA年会費2年分を見込む
	機関投資家向けアンケート	100,000	70,000	70,000	システム費用等
	残高調査レポートの発行	0	0	330,000	原稿料・編集費・翻訳費
	白書の製作費等	1,400,000	1,232,200	0	
	ウェブサイト運営	350,000	207,170	300,000	
	給料手当(事業)	2,580,000	2,080,000	2,700,000	期中に事務局増員を見込む
2. 管理費		2,730,000	2,551,149	2,730,000	
事務局運営費	給料手当(管理)	1,120,000	1,120,000	1,120,000	
	法定福利費	500,000	531,014	550,000	社会保険料
	旅費交通費	30,000	400	10,000	電車代
	地代家賃	300,000	300,000	300,000	家賃
	業務委託費	270,000	263,736	270,000	税理士報酬
	支払手数料	70,000	67,662	70,000	振込・決済手数料
	通信運搬費	40,000	55,312	60,000	電話・Zoom・郵便等
	消耗備品費	250,000	127,666	250,000	
	その他経費	150,000	85,359	100,000	
経常支出合計(B)		8,360,000	6,278,834	7,130,000	
当期収支差額(A)-(B)		20,050	1,448,734	△ 649,950	

運営委員候補一覧

(敬称略・50音順)

任期：2022年4月1日～2024年3月31日

	氏 名	所属（または肩書）
1	荒井 勝	特定非営利活動法人日本サステナブル投資フォーラム
2	栗野 瑞季	MSCI ESG Research
3	安藤 正行	株式会社クレアン
4	内田 宏樹	株式会社クレアン
5	江森 郁実	株式会社エッジ・インターナショナル
6	大竹 大	株式会社アイフィスジャパン
7	岡田 敦	-
8	沖 雅之	個人投資家
9	河口 真理子	立教大学21世紀社会デザイン研究科
10	岸上 有沙	En-CycleS (Engagement Cycle for Sustainability)
11	黒田 一賢	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
12	清水 裕	スパークス・アセット・マネジメント株式会社
13	鷹羽 美奈子	野村アセットマネジメント株式会社
14	竹ヶ原 啓介	株式会社日本政策投資銀行
15	谷 淳也	Future Earth
16	西村 万祐	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
17	長谷川 道子	ニッセイアセットマネジメント株式会社
18	波多野 肇	株式会社QUICK
19	林 礼子	BofA証券株式会社
20	平松 宏城	株式会社ヴォンエルフ
21	御代田 有希	一橋大学大学院
22	堀江 隆一	CSRデザイン環境投資顧問株式会社
23	松原 稔	りそなアセットマネジメント株式会社
24	山崎 明美	日本シェアホルダーサービス株式会社
25	吉田 哲朗	信金中央金庫

お願い

総会成立の定足数に満たない場合、法令により 3 月末までに再度開催の必要がございますので、ご欠席の場合、開会時間の 18:30 に間に合わない恐れがある場合は、委任状または書面
表決票を 3 月 10 日(木)までにご提出いただきますようご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

委 任 状

私は、JSIF2021 年度 定例理事会・総会における審議について、

☐ いずれかに ☒ を付けて下さい。

☐ 議長に委任します。

☐ 会員：() 様)に委任します。

書面をもって表決される場合 ⇒ 下記の 書面表決票の用紙をご利用下さい。

ご署名

書 面 表 決 票

私は、JSIF 2021 年度 定例理事会・総会における審議について、下記の通り、書面をもって表決します。

【資料 No.1～10】

(1) 2021 年度 事業報告 【NO.1】 (可 ・ 否)

(2) 2021 年度 収支決算 【NO.2～7】 (可 ・ 否)

(3) 2022 年度 事業計画案 【NO.8】 (可 ・ 否)

(4) 2022 年度 収支予算案 【NO.9】 (可 ・ 否)

ご署名
